

米国留学レポート

岩嶋 孝夫

昨年度1年間、武蔵工業大学の学校法人である五島育英会より「曾根（そね）奨学基金」の援助をいただき、フロリダ州ブラデントンにあるニックボロテリーテニスアカデミー（NBTA）に留学させていただきました。この場をお借りしてそのレポートさせていただきます。

【場所】タンパ空港から車で南下すること約1時間、白いゲートを入るとNBTAがあります。ハードコート39面（内インドアコート4面）、クレークコート10面、トレーニング用ドーム、トレーニングジム、プール等々まさに夢のような施設です。その他野球場2面、サッカー場4面（もちろん全面芝）、ゴルフ練習場があります。サッカー場ではインターバル走や長距離走で何度も辛い目にあい、とても懐かしい場所でもあります。

【住居】アパートはNBTAから車で5分程度のところに借りました。1ベッドルーム1バスルームというものですが、たいへん広く快適でした。もちろん、プール・テニスコート・トレーニングジム付きです。何も贅沢したわけではありません。むこうではこれが普通なのです！



「坂ダッシュ」中の私

【1日】6時半起床。お米にみそ汁と卵。完全な「和食」自炊生活です。8時にコートに行き、午前中はNBTAのコーチとシングルスをして3セット程度。たまにレベルの高いアダルトのお客さんがいたりすると、一緒にレッスンに入ったり、シングルスをしたり、ということもありました。一度アパートに戻ってシャワーを浴びてランチ。1時間程休んでから15時に再びコート。夕方は自分がプレーするというよりもジュニア達のマッチ練習観戦が多かったです。18時に帰宅。やはり肉を焼く事が多かったですね。ビールは麒麟。アメリカのビールはどうも口に合いませんでした。22時には就寝、というか疲れて寝ていました。

【レッスン】最初の2週間はレッスンフィーを払ってアダルトのレッスンを受けました。1週間（5日間）ランチ付きで600ドル程度だったのでしょうか。



アダルトレッスンの休憩中

やや高めです。午前中3時間半、午後2時間半の練習です。1面1人のコーチに対してレッスン生が2〜4人しかいません。ボール出し練習がほとんどです。フロリダの暑さの中、どんなレベルでも、とにかく心拍数を上げる練習ばかりです。全身筋肉痛状態が続きまし

た。しかしながら、コーチ陣の技術的なアドバイスは的確で、かつフレンドリー。ジュニアコーチ陣よりも高いレベルのコーチが多かったように思いました。皆さんも機会がありましたらぜひトライしてみてください。お金を払ってまで苦しい思いをして満足するという、なんともマゾ的？な快感が得られるかもしれません！？

【有名人】何と言ってもウィンブルドンチャンピオンのシャラポワでしょう！練習風景を良く見かけました。コート上ではとても怖い顔。でもコートから離れると、普通の女子高生って感じでした。写真撮影にも気軽に応じてくれて、とてもかわいい女の子でしたよ。しかし、まさかこんなに早くにブレイクするとは思わなかったので、彼女とのツーショットは撮ってきませんでした。とても後悔しています。まだまだ目が悪いですね…。

【最後に】私の留学にあたりこの1年間、テニス部員はじめとても多くの方々にご迷惑をおかけしてしまいました。しかし、日本では経験する事のできない、たくさんの充電をさせていただきました。今後、自分が留学で得た事をテニス部はじめ、たくさんの方にお返ししたいと思っております。今後ともテニス部へのご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、私の留学に際しましてOB会よりご餞別をいただいた事をここにお礼申し上げます。



フロリダ州ボカラトンでのITFジュニア大会の日本選手&コーチ。左から3番めが現地で私がた
いへんお世話になった米沢徹ナショナルコーチ